

平成22年度 決算説明書／事務事業評価シート

部局名	教育委員会
課室名	学校教育課

預算	款	項	目	決算書	
	10	3	3	216	頁

目 名
中学校国際交流費

事務事業名称
中学校国際交流事業

1. 概要

目的	将来を担う中学生に社会性・国際性の涵養を目的として国際交流を行う	対象	市内中学生応募者
事業概要	○中学校国際交流事業・・・国際交流事業で市内募集した生徒により、韓国中学生と、その保護者との交流 国際交流事業にて市内中学生が韓国を訪問・・・韓国プサン広域市機長郡長安中学校 児童生徒参加25人 引率6人 参加者負担金145,000円 《説 明》 参加者・・・中学校3年生 清川7、大野6、三重5、朝地3、犬飼2、千歳2 計25人 交流内容・・・ホームステイ、交流事業等 参加者負担金については、韓国からの参加者の負担金 29名分。(145,000円)		

臨／経	事業名	事業内容（主な経費等）		予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	中学校国際交流事業	生徒参加25人 引率6人	負担金補助 及び交付金	2,199	1,724			145	1,579	3
計				2,199	1,724	0	0	145	1,579	

2. 指標設定

成果指標	指標名		異国文化の尊重と交流		目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値		—				市内で在住中学生の応募者による参加人数を設定			
活動指標	指標	a	参加人数		b		c		d	
	数値	目標	—		目標		目標		目標	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H20	H21	H22
異国文化の尊重と交流		—	—	—

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 参加人数	人	0 人	21 人	25 人
b		—	—	—
c				
d				

4. 課題と対応

課題
予算に限りがあり参加人数にも制限がかかってくる
対応（改善点等）
国際交流担当部局と連携を強め事業の充実を図る

5. 事業費・・・H20～H22（決算額）、H23（予算現額）

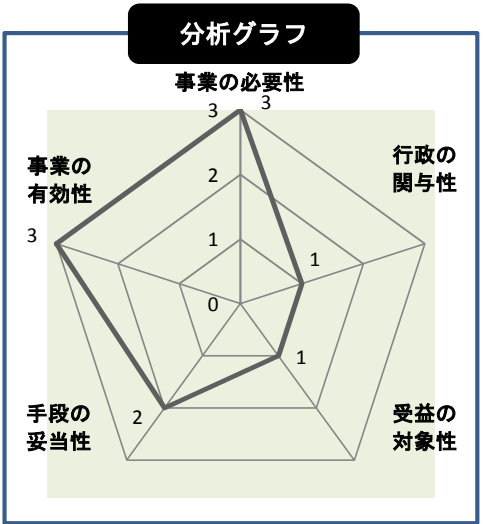
決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
		102	1,496	1,724	2,199
うち経常経費		102	1,496	1,724	2,199
財源内訳	国費				
	県費				
	市債				
	その他		110	145	150
	一般財源	102	1,386	1,579	2,049
うち経常		102	1,386	1,579	2,049
事業費に係る人件費		212	213	219	430

6. H24年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
将来を担う中学生に国際性を身につけさせるため、国際交流の根幹部分の予算を支援しており、現行の参加人員からみて最低限度の予算措置である

7. 担当課による分析

着眼点		分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	将来の豊後大野市を担う中学生に国際性を身につけさせるためにも必要
② 行政の関与性	責任領域の精査	1	民間によるサービスの供給は可能であるが保護者の経済的負担を考えると行政主催が必要
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1	参加生徒を公募しているが必ずしも公平とは一概に言えない
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	2	国際交流担当部署との連携など事業内容、担当部署等の検討が必要
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3	参加生徒は事業年度以降も訪問先家庭と交流活動を独自で実施しており効果がある



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	幅広く参加ができるよう有効な手段を検討すること